

沖縄復帰から40年

” 辺野古のおばあ ” 島袋 文子さん を迎えて

# 沖縄戦の体験と 辺野古の闘いを語る

札幌講演会

2012年 6 月 8 日 (金)  
18:00 ~ 20:00

かでの2.7 大ホール  
(札幌市中央区北2西7)

参加費 500円



## 島袋 文子さん

1997年以来、辺野古の住民として基地建設に反対し続けています。

文子さんは1929年生まれ。16歳のとき、県南部・糸満で沖縄戦を体験。「鉄の暴風」と呼ばれた激しい戦闘の中、たくさんの悲惨な死を目撃。自らも逃げ込んだ壕の中で、火炎放射器によって半身を焼かれ、今も後遺症が残ります。苦しい戦中・戦後を生き延び、53年前から辺野古に暮らしています。

「基地があるから、戦争が来る」が信条で、新基地建設に反対し続ける「辺野古のおじい、おばあ」の一人。基地を作らせない、基地を無くしてゆくためにも、沖縄戦の体験を風化させてはならないと、自らの体験を語り始めました。今回が初めての北海道です。

同時上映

「ラブ沖縄@辺野古」(43分)

藤本幸久・影山あさ子監督作品「ラブ  
沖縄@辺野古@高江」(2012年)より



主催 北海道平和運動フォーラム・ほっかいどうピースネット・安保破棄北海道実行委員会

TEL(011)231-4157

090-7519-1731

(011)758-4585

協力 森の映画社 影山あさ子事務所 <http://america-banzai.blogspot.jp>